

\\ 笑顔とがんばりの町 //

広
報

おのまち

2022

8

No.714





イルミネーションが夏の夜空を色鮮やかに彩り、訪れた人の笑顔も明るく照らしていました。ぜひ、大切な人と夏の思い出を増やしてみませんか。

写真：山田淳輝
(地域おこし協力隊)

広報おのまちは



iOS用



android用



で配信中!

- 02 INDEX
- 03 町産酒米使用の日本酒「東堂山勝馬」発表
- 04 認定こども園通信
- 05 まちトピック
- 06 小野小通信／小野高通信
- 07 全国大会出場者激励金交付
- 08 小野小町ふるさと応援寄附金
- 09 第26回参議院議員通常選挙結果
- 10 おのまち地域おこし協力隊活動記
- 11 小野町地域包括支援センターからのお知らせ
- 12 小野町公民館生涯学習事業のお知らせ
- 14 お知らせ
- 16 国民年金と税金のお知らせ
- 18 みんな笑顔で健康づくりコーナー
- 20 公立小野町地方総合病院からのお知らせ
- 21 夜間診療所当番医・休日当番医
- 22 各種健診・教室日程
- 23 食品放射能測定結果／上水道水質検査結果／お誕生おめでとう／おくやみ申し上げます／町の人口・世帯数
- 24 Happy 1st Birthday／小野町小桜ちゃん応援商品券

おのまち サマーイルミネーション点灯式

Summer Illumination



「おのまちサマーイルミネーション点灯式」が7月23日に小野町文化公園で行われました。

会場の声に合わせて点灯スイッチが押されると、文化公園内に設置されたイルミネーションが一斉に点灯し、会場を訪れた方からは歓声が上がり、表情には笑みがこぼれていました。

コロナ禍で3年ぶりの点灯式となりましたが、多くの方が、美しく彩られた夏の夜を楽しんでいました。

このほか点灯式では、フレアいのバーテンダー横田さんのバルーンパフォーマンスなどが披露され、会場の雰囲気を一層盛り上げました。

- 点灯期間 令和4年8月21日⑩まで
- 点灯時間 19:00~22:00

期間中、不定期にマルシェが開催されます。詳しくは産業振興課へお問い合わせください。

☎産業振興課 ☎72-6938

町産酒米を使用したオリジナル日本酒「東堂山勝馬」を発表

「町産酒米を使用した町オリジナル日本酒商品発表会」が7月22日に役場分庁舎で行われました。

発表会には、町長、小野町産業6次化・発酵のまちづくり推進協議会日本酒部会の遠藤部会長、荻野副部会長、東日本酒造協業組合 理事・杜氏 殿川慶一さん、奥の松酒造株式会社代表取締役 遊佐丈治さん、同第一営業部長 佐藤章さんが出席し、メディア・関係者への発表を行いました。

町長からは「関係者の皆さんにご尽力をいただき、素晴らしい商品を完成することができた。小野町のお土産品・定番商品として、多くの方々に手に取っていただきたい。」とあいさつがあり、日本酒の醸造を指揮した殿川さんからは「香り高く爽やかさのあるお酒に仕上がった。」と商品の紹介がありました。

町では引き続き「産業6次化・発酵のまちづくり推進事業」に取組み、日本酒、味噌、乳製品の各部会を中心に協議、試作を重ね、商品化を図っていく予定です。

産業振興課

7216938



左から佐藤さん、遊佐さん、殿川さん、町長、遠藤部会長、荻野副部会長



商品名

東堂山勝馬(とうどうさんかちうま)「勝馬」は名誉町民であり発酵学者の小泉武夫先生にご考案いただき、坂上田村麻呂の伝説に伴い、馬匹守護の信仰を集めかつ町のシンボルの一つである「東堂山」と組み合わせ命名しました。「勝馬」には、勝負事に勝つことだけでなく、依然として収束の見えない新型コロナウイルス感染症に打ち勝つという祈りも込められています。

商品概要

- 日本酒(純米吟醸)
- 内容量720ml
- アルコール分15度
- 初年度は1,500本の限定生産となります

原材料

小野町産酒造好適米「福乃香」100%使用(精米歩合55%)
※「福乃香」は福島県オリジナル酒造好適米で県の奨励品種に採用されています。本商品の製造にあたり、町内の農家さんに育てていただいたものです。

製造者

東日本酒造協業組合
(二本松市)

加工者

奥の松酒造株式会社
(二本松市)

企画

小野町産業6次化・発酵のまちづくり推進協議会
「東堂山勝馬」は8月4日から町内の酒販店で販売しています。

取扱店

大和田酒店、農産物直売所おのげんき、鯨岡酒店、ケー・ショップたかきや、ジスケファミリーショップ、富屋酒店、長久保酒店(湯沢温泉 元湯湯沢荘)、丸忠ストア



町ウェブサイト
「東堂山勝馬 取扱店」

認定こども園通信

わくわくどきどき
たんけんたい

昨年度まで旧小野わかば幼稚園で実施していた「たんけんたい」の活動は、こども園でも引き続き実施しています。

たんけんたいには4歳児と5歳児が参加しており、5歳児が考えを出し合って「わくわくどきどきたんけんたい」という新たな名称に決定しました。

野外活動の専門家で郡山女子大学短期大学部幼児教育学科准教授の柴田卓先生(愛称…ぐるぐる先生)を講師として招き、第1回のたんけんたいが6月に「緑とのふれあいの森公園」で行われました。

子どもたちは「ぐるぐる先生」とすぐに先生と仲良くなり、初めての園外活動にわくわくどきどき。最初にぐるぐる先生から「たんけんたいの極意」を2つ示されました。



地域の子育て支援事業 のお知らせ

■ 開設日

月曜日・水曜日・金曜日

■ 開設時間

午前10時から午後3時まで

■ 料金

無料

■ 8月のイベント

絵本の読み聞かせ

8月24日*

午前11時から午前11時30分
まで

■ 予約先

おのまち認定こども園

☎73-8321

● その1

「自分のことは自分でするべし!」

● その2

「自分の身は自分で守るべし!」
最初は上手くできなくても、できるところから自分でできた達成感を重ねていく。また自然の中で危険を回避する知識、能力を身に付ける。この2つはたんけんたいの約束であり、目的です。この極意は魔法の言葉。みんな急にやる気が出ます。

今回行ったのは「たんけんビンゴ」です。9個の枠があり、草花やカエル、木の实、切り株など、自分で見つけて枠を埋めていきます。

池の周りを探したり、急な斜面を駆け上がったたり降りたりしながら「見つけた!」と目を輝かせて頑張っていました。

活動後の昼食では準備から片付けまで何とか自分でやろうとする姿が見られ、「自分のことは自分でするべし!」という極意の第一歩となりました。

直接体験の場を園内にとどまらず、小野町の自然環境へと視野を広げていき、子どもたちもっている能力や可能性を引き出している活動としていきます。



幼年消防クラブ結成 火災の怖さを学びました



上__幼年消防クラブ結成式
下__消防車を間近でみる子どもたち

幼年消防クラブの結成式が7月14日、おのまち認定こども園で行われました。

この幼年消防クラブは、正しい火の取り扱いについて学び、火遊びなどによる火災の防止を図ることを目的におのまち認定こども園の年長児童を対象として、結成されたものです。

結成式では法被^{はっぴ}が授与され、クラブ員全員による「誓いのことば」が発表されました。

今後、幼年消防クラブの皆さんには、火災予防の大切さを学び、将来の地域防災の担い手になってもらえることを期待しています。



社会を明るくする運動 内閣総理大臣・福島県知事メッセージ伝達

社会を明るくする運動(法務省主唱)はすべての国民が犯罪や非行の防止と過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動で、今年で第72回を迎えました。運動展開にあたり、田村地区保護司会の橋本俊宏副会長、郡司茂雄小野支部長、新田俊幸庶務、小野町更生保護女性会の宗像ミエ子会長の4人が役場を訪れ、岸田文雄首相・内堀雅雄知事のメッセージを町長らに伝達しました。

田村地区保護司会では推進委員会を設置し、犯罪や非行のない地域社会づくりのための広報活動や作文コンクールなどを例年通り実施する予定です。



左から宗像会長、町長、橋本副会長、郡司支部長、新田庶務

小野町小学生国際交流体験事業

語学研修および英語力の向上、国際感覚豊かな人材の育成を図ることを目的とし、6年生が異文化にたっぷり触れる活動が6月20日にブリティッシュヒルズ(天栄村)で行われました。

映画「^{ほうふつ}ハリーポッター」の世界を彷彿とさせるすてきな環境のもと、子どもたちはオールイングリッシュで生き生きと学びました。



放送部 県大会出場

私たちは「第69回NHK杯全国高校放送コンテスト福島県大会」に参加しました。今回の大会では、新体制になってから初の試みとなるテレビドキュメント制作に挑戦しました。慣れない動画編集に混乱したり、インタビューの難しさを痛感したりしましたが、部員全員で力を合わせて乗り越えることができました。またアナウンスのテーマとして、今までお世話になった購買部を話題に取り上げました。本番では小野高生の思いも原稿に込めてアナウンスしたいと思います。撮影取材にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



全国高等学校野球選手権 県総体および高体連上位大会出場部壮行会

第104回全国高等学校野球選手権福島県大会に出場する野球部と県総体および高体連上位大会に出場する陸上部、剣道部、弓道部に対する壮行会を6月27日に体育館で実施しました。各部代表が大会に向けての抱負を述べ、生徒会会長と校長先生から激励の言葉をいただき、応援委員からエールが送られました。出場する部活動の代表選手は大会への意気込みを力強く話していました。小野高生の更なる活躍に期待しています。



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
☎0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<http://www.ono-h.fks.ed.jp>

全国大会出場者激励金交付

全国大会の出場者に対し、小野町・文化体育振興基金から激励金が7月21日に役場分庁舎講堂で交付されました。交付式では、町長から「日頃の練習の成果を思う存分発揮し、悔いのないように頑張ってください」と激励のことがばが贈られました。皆さんのご活躍をお祈りします。

各大会への上場者は次のとおりです。(敬称略)



激励金の交付を受けた皆さん

【第22回全日本少年少女空手道選手権大会】

| No. | 出場種目 | 氏名 | 学校名(学年) |
|-----|---------------|-----------------------------|-----------|
| 1 | 小学5年生 男子 形 | 佐藤 <small>あさひ</small> 麻陽 | 小野小学校(5年) |

【令和4年度全国高等学校総合体育大会】

| No. | 出場種目 | 氏名 | 学校名(学年) |
|-----|--------------------|---------------------------------|----------------|
| 1 | 陸上 (砲丸投げ)(やり投げ) | 根本 <small>ほなみ</small> 穂波 | 日本大学東北高等学校(3年) |
| 2 | 女子柔道 団体：70kg級 | 上遠野 <small>まなか</small> 愛和 | 学校法人石川高等学校(2年) |
| 3 | アーチェリー団体 | 郡司 <small>りょう</small> 諒 | 田村高等学校(2年) |
| 4 | ボート女子舵手付 クオドルプル | 草野 <small>ゆう</small> 優 | 田村高等学校(2年) |
| 5 | ボート男子舵手付 クオドルプル | 後藤 <small>けいた</small> 啓太 | 田村高等学校(2年) |
| 6 | 男子ソフトボール | 庭田 <small>げんき</small> 元氣 | 郡山北工業高等学校(1年) |
| 7 | | 吉田 <small>りょうのすけ</small> 涼乃介 | |

【第22回全国障がい者スポーツ大会】

| No. | 出場種目 | 氏名 | 学校名(学年) |
|-----|-------------|------------------------------|----------------|
| 1 | フライングディスク競技 | 村上 <small>まなみ</small> 茉奈美 | たむら支援学校高等部(1年) |
| 2 | | 村上 <small>まりな</small> 麻莉奈 | 小野中学校(3年) |

【天皇賜杯第77回全日本軟式野球大会】

| No. | 出場種目 | 氏名 | 所属 |
|-----|------|-------------------------------|-----------|
| 1 | 軟式野球 | 吉田 <small>こうき</small> 洸規 | 株式会社タンガロイ |
| 2 | | 大和田 <small>たいせい</small> 泰世 | |
| 3 | | 小松 <small>しょうと</small> 翔人 | |

【第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)】

| No. | 出場種目 | 氏名 | 所属 |
|-----|-----------|------------------------------|----------------|
| 1 | グラウンド・ゴルフ | 長久保 <small>ひでお</small> 秀男 | 小野町グラウンド・ゴルフ協会 |